

## 閉会の辞

尾崎 正善

閉会の辞に移りたいと思います。本日まで発表下さいました、橋本弘道先生、宮崎展昌先生、上野正人先生、鮫島良一先生、大変ありがとうございました。また、長時間にわたりまして会場にてご参加並びにオンラインにてご視聴の皆様方、大変ありがとうございました。御礼申し上げます。

本学は来年、令和六年に創立百周年を迎えます。その基を築かれたのは、初代学長である中根環堂先生です。その教育の理念、現在の大学に繋がる建学の精神をしっかりと振り返り、問い直すことは大変重要なことであり、意義深いことだったと思います。さらに、今後の總持学園発展の指針となるものであります。

本日、四名の先生方に御登壇頂きました。それぞれの視点から總持学園の歴史、建学の精神、現在の教育実践を通してみる学園の教育指針、そして中根先生のあげた精神の具現化について様々ご発表頂きました。

今後、本シンポジウムの発表が学園の教育に活かされることを祈念するとともに、本学園がますます発展し、多くの児童・生徒・学生を育てていくことを重ねて祈念いたしました。閉会の辞とさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。

(おごきき まさよし・鶴見大学仏教文化研究所客員研究員)